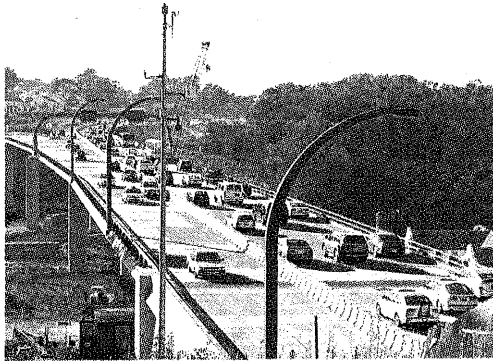


CIMの道筋

米国に見る光と影

「事前に国土交通省内で聞き取りをして、知りたいポイントを絞ってきた」と調査団の本村信一郎同省大臣官房技術調査課技術管理係長は語る。そこで浮き彫りになったテーマの1つが「維持管理段階の活用」であった。BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）の導入によ

維持管理は独自対応



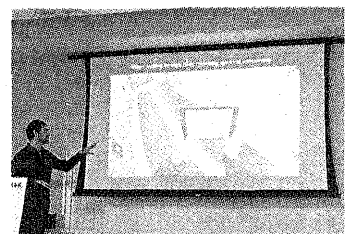
プレシディオ・パークウェイは維持管理にBIMを取り入れている

「米国の土木プロジェクトにBIMが導入されるようになったのは、2、3年前のこと。成長を続ける建

って、米国の公共事業はどうか。012年度に設計段階、13年度からは施工段階に対象範囲を拡大した。具体の時期はまだ明らかになっていないが、いずれ維持管理段階の試行にもチャレンジする方針を掲げている。技術者不足は施工者に限らず、

発注者にとっても深刻な状況だけに、CIMを突破口に維持管理業務の省力化につなげる狙いも見え隠れする。

「米国の土木プロジェクトにBIMが導入されるようになったのは、2、3年前のこと。成長を続ける建



スマートモバイルの活用を説明するランデル氏

採用された。その有効性が評価され、設計や施工の段階でも継続して使われることになった。供用後にメンテナンスを担当する関係者も情報共有の場に加わっていったことから、トンネル区間を制御する電気・機械設備室についても属性情報を

報は施工段階に入れ込み、スマートモバイルで属性情報を確認できる仕掛けも用意した」と明かす。

日本では、建築の維持管理にBIMを活用する動きが出てきたものの、まだ検証プロジェクトにとどまり、実用化した例はない。

土木事例まだ極わずか

用する事例はごくわずか。それぞれ独自で対応しているのが実情のようだ。

カリフォルニア州北部のサンフランシスコ市で建設が進む「プレシディオ・パークウェイ」取り替え工事は、地震で被害を受けたことを機に、別ルートに長さ約5.1の道路を新設するプ

ロジェクトだ。既に道路片側が完成し、暫定的に上下線に分けて供用している。

前職のパーソンズプリンカホフ時代に、このプロジェクトのBIM担当者であったランデル氏は「実は最初から維持管理での活用を考え、統合モデルの中にも設備室のモデルを含めた。維持管理に使う属性情

入れ込んだ3次元モデルが作成された。

維持管理の属性情報は設計や施工の時に必要な情報と異なり、基準も定まってい

【建設ICT】

1. 日経
2. 朝日
3. 毎日
4. 読売
5. 朝日
6. 中日
7. 産経
8. 日経
9. 伊勢
10. 中部経済
11. 建通
12. 日刊工業
13. 建設通信
14. 信濃毎日
15. 日本海
16. 建設工業

平成25年10月16日(朝)・夕 P 3-1

建設通信新聞